

ニッセイ インターネットアンケート

～「敬老の日・老後の生活」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「敬老の日」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：2017年7月21日(金)～8月9日(水)
- 調査方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：8,798名(男性:4,580名、女性:4,218名)

<年代別回答者数>

[名、%]

| 年代 | | | | | | | 合計 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| | ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代～ | |
| 男性 | 313 | 679 | 1,177 | 1,318 | 813 | 280 | 4,580 |
| 女性 | 327 | 766 | 1,053 | 1,104 | 656 | 312 | 4,218 |
| 合計 | 640 | 1,445 | 2,230 | 2,422 | 1,469 | 592 | 8,798 |
| 占率 | 7.3 | 16.4 | 25.3 | 27.5 | 16.7 | 6.7 | 100.0 |

《調査結果のポイント》

ポイント①

質問 1,2

- プレゼントを贈る方の割合は、48.7%となり、昨年と比較すると、9.2pt増加
- 贈るものの1位は「衣類」(19.8%)、欲しいものの1位は「食事」(18.6%)となった
- 「食事」は、贈る側では7位(3.8%)となっており、受取る側と開きがあった

ポイント②

質問 3,4

- プレゼントを贈る方の平均予算は4,820円(対前年▲8.7%)、受取る方の望ましい平均金額は5,290円(対前年▲1.9%)となった
- 祖父・祖母にしたい著名人の1位は「所ジョージさん」、「吉永小百合さん」となった

ポイント③

質問 5,6,7

- ゆとりある老後の生活費について、単身の場合は、昨年同様「20～24万円」と回答した方が38.4%で最多。夫婦2名の場合は、「30万円以上」と回答した方が7割以上となった
- 60歳以上の方のいま最も楽しいことは1位「旅行」、2位「友人との時間」、3位「家族との時間」となった
- 老後住みたい都道府県の1位は「沖縄県」、次いで「東京都」となった

質問 1-1 敬老の日にプレゼントを贈りますか？ (回答者数 : 5,191 名)

質問 1-2 過去、どれくらいの頻度で敬老の日にプレゼントを贈っていますか？ (回答者数 : 2,501 名)

○プレゼントを贈る方の割合は、48.7%となり、昨年と比較すると、9.2pt増加
 ○プレゼントを贈る頻度について、「毎年」と回答した方の割合が 26.1%なのに対して、「贈ったことがない」と回答した方の割合は 41.5%となった。また、男女別で見ると、女性の割合(29.9%)が男性(22.7%)より 7.2pt 上回った

< 「贈る・贈らない」 回答割合 >

| | 2016年 | 2017年 |
|------|-------|-------|
| 贈る | 39.5% | 48.7% |
| 贈らない | 60.5% | 51.3% |

< 男女別 : 「贈る頻度」 >

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 毎年 | 26.1% | 22.7% | 29.9% |
| たまに | 24.6% | 21.7% | 27.7% |
| 1度は贈ったことがある | 7.8% | 7.3% | 8.4% |
| 贈ったことがない | 41.5% | 48.3% | 34.0% |

質問 2-1 (贈る方への質問) プレゼントは何を贈る予定ですか？ (回答者数 : 4,063 名)

質問 2-2 (受取る方への質問) プレゼントは何が欲しいですか？ (回答者数 : 4,197 名)

質問 2-3 (受取る方への質問) 今までもらったプレゼントで一番嬉しかったものは何ですか？

(回答者数 : 4,018 名)

○贈るものの 1 位は「衣類」(19.8%)、欲しいものの 1 位は「食事」(18.6%)となった
 「食事」は、贈る側では 7 位(3.8%)となっており、受取る側と開きがあった
 ○今までもらって一番嬉しかったものの 1 位は 14.7%で「食事」となった

< 贈る方 : 何を贈る予定ですか？ >

| 順位 | 贈るもの | 占率 |
|----|---------------|-------|
| 1位 | 衣類 | 19.8% |
| 2位 | 現金・金券・カタログギフト | 17.0% |
| 3位 | 手紙・メール・電話・絵 | 13.7% |
| 7位 | 食事 | 3.8% |
| 8位 | 生花・フラワーギフト | 2.9% |

14.0pt
以上の差



< 受取る方 : 何が欲しいですか？ >

| 順位 | 欲しいもの | 占率 |
|----|---------------|-------|
| 1位 | 食事 | 18.6% |
| 2位 | 生花・フラワーギフト | 13.2% |
| 3位 | 現金・金券・カタログギフト | 12.0% |
| 8位 | 衣類 | 5.8% |

< 受取る方 : 今までもらって一番嬉しかったものは何ですか？ >

| 順位 | もらって一番嬉しかったもの | 占率 |
|----|---------------|-------|
| 1位 | 食事 | 14.7% |
| 2位 | 生花・フラワーギフト | 12.2% |
| 3位 | 現金・金券・カタログギフト | 11.9% |

質問3-1 (贈る方への質問) プレゼントの予算はいくらですか? (回答者数: 4,222名)

質問3-2 (受取る方への質問) プレゼントの予算はいくらが望ましいですか? (回答者数: 1,629名)

○プレゼントを贈る方の予算は「3千円から5千円未満」が最も多く29.8%となった。一方で、受取る方の望ましい金額は「5千円から1万円未満」が最も多く23.8%となった

○プレゼントを贈る方の平均予算は4,820円(対前年▲8.7%)、受取る方の望ましい平均金額は5,290円(対前年▲1.9%)となった

<贈る方: 予算はいくらですか?>

| 予算 | 占率 |
|------------|-------|
| お金をかけない | 15.8% |
| 3千円未満 | 21.7% |
| 3千円から5千円未満 | 29.8% |
| 5千円から1万円未満 | 23.3% |
| 1万円から3万円未満 | 8.4% |
| 3万円以上 | 1.0% |

<受取る方: 望ましい金額はいくらですか?>

| 望ましい金額 | 占率 |
|------------|-------|
| お金をかけない | 17.0% |
| 3千円未満 | 23.6% |
| 3千円から5千円未満 | 23.5% |
| 5千円から1万円未満 | 23.8% |
| 1万円から3万円未満 | 9.5% |
| 3万円以上 | 2.6% |

平均: 4,820円 (対前年▲8.7%)

平均: 5,290円 (対前年▲1.9%)

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 シニアマーケティングリサーチャーのコメント>



昨年同様、贈る側は衣類などのモノをプレゼントする傾向が強くなっていますが、贈られる側の欲しいものや、もらって一番嬉しかったものの回答に現れているとおり、贈られる側では、一緒に食事しながら過ごすなど、ゆっくり交流する機会を望んでいるようです。

一方、プレゼントを贈る側の予算が昨年に比べ減少したことは、税・社会保険料負担の増加に伴う可処分所得の減少・伸び悩みが影響しているものと考えられます。

【60歳未満の方への質問】

質問4-1 祖父にしたい著名人は誰ですか? (回答者数: 4,509名)

質問4-2 祖母にしたい著名人は誰ですか? (回答者数: 4,490名)

○祖父にしたい著名人の1位は、「所ジョージさん」、次いで「タモリさん」となった

○祖母にしたい著名人の1位は、「吉永小百合さん」、次いで「八千草薫さん」となった

<祖父にしたい著名人>

| 順位 | 名前 | 得票数 |
|----|---------|-----|
| 1位 | 所ジョージさん | 605 |
| 2位 | タモリさん | 417 |
| 3位 | 加山雄三さん | 351 |
| 4位 | 笑福亭鶴瓶さん | 311 |
| 5位 | 関根勤さん | 296 |

<祖母にしたい著名人>

| 順位 | 名前 | 得票数 |
|----|---------|-------|
| 1位 | 吉永小百合さん | 1,243 |
| 2位 | 八千草薫さん | 695 |
| 3位 | 中村玉緒さん | 301 |
| 4位 | 樹木希林さん | 289 |
| 5位 | 大竹しのぶさん | 285 |

<過年度までの推移>

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|----|---------|---------|---------|
| 1位 | 加山雄三さん | 加山雄三さん | 所ジョージさん |
| 2位 | 長嶋茂雄さん | 長嶋茂雄さん | タモリさん |
| 3位 | 王貞治さん | 所ジョージさん | 加山雄三さん |
| 4位 | 所ジョージさん | 西田敏行さん | 笑福亭鶴瓶さん |
| 5位 | 北野武さん | タモリさん | 関根勤さん |

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|----|---------|---------|---------|
| 1位 | 八千草薫さん | 八千草薫さん | 吉永小百合さん |
| 2位 | 樹木希林さん | 樹木希林さん | 八千草薫さん |
| 3位 | 吉永小百合さん | 吉永小百合さん | 中村玉緒さん |
| 4位 | 森光子さん | 森光子さん | 樹木希林さん |
| 5位 | 黒柳徹子さん | 黒柳徹子さん | 大竹しのぶさん |

【老後生活についての質問】

質問5-1（単身の場合）ゆとりある老後生活に必要な生活費（1カ月当たり）はいくらですか？

（回答者数：7,007名）

質問5-2（夫婦2名の場合）ゆとりある老後生活に必要な生活費（1カ月当たり）はいくらですか？

（回答者数：6,565名）

○ゆとりある老後の生活費について、単身の場合は、昨年同様「20～24万円」と回答した方が38.4%で最多。夫婦2名の場合は、「30万円以上」と回答した方が7割以上となった

<単身の場合>

| | 全体 | | ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代～ |
|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 対前年 | | | | | | |
| 15万円未満 | 6.9% | ▲6.6% | 11.2% | 8.9% | 6.9% | 5.4% | 4.7% | 8.1% |
| 15～19万円 | 14.8% | ▲11.8% | 17.1% | 18.2% | 15.5% | 12.5% | 13.7% | 10.8% |
| 20～24万円 | 38.4% | +0.5% | 39.0% | 37.0% | 40.2% | 39.5% | 36.1% | 32.1% |
| 25～29万円 | 13.7% | +4.2% | 11.4% | 12.9% | 12.0% | 14.5% | 16.1% | 17.2% |
| 30～34万円 | 21.2% | +11.3% | 16.7% | 18.1% | 20.1% | 23.1% | 23.7% | 26.4% |
| 35万円以上 | 5.1% | +2.5% | 4.7% | 4.8% | 5.3% | 5.0% | 5.7% | 5.4% |

<夫婦2名の場合>

| | 全体 | | ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代～ |
|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 対前年 | | | | | | |
| 20万円未満 | 4.0% | ▲2.5% | 7.4% | 5.7% | 3.8% | 3.4% | 1.8% | 6.2% |
| 20～24万円 | 9.7% | ▲10.0% | 9.7% | 10.7% | 10.5% | 8.7% | 8.7% | 10.6% |
| 25～29万円 | 10.4% | ▲3.6% | 9.9% | 10.5% | 10.0% | 10.6% | 11.6% | 8.2% |
| 30～34万円 | 31.8% | ▲5.5% | 28.2% | 30.1% | 33.0% | 33.1% | 31.1% | 30.3% |
| 35万円以上 | 44.1% | +21.7% | 44.9% | 43.0% | 42.7% | 44.3% | 46.7% | 44.7% |

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 シニアマーケティングリサーチャーのコメント>

昨年に比べ、単身では「30～34万円」、夫婦2名では「35万円以上」が、それぞれ大幅に増加する結果となりました。総務省統計局「家計調査」によれば、65歳以上の勤労者世帯における税・社会保険料を含めた実支出は、1カ月あたり約33万円となっていることからすれば、これらの結果は現在の高齢世帯における支出額に若干のゆとりを上乘せした額となっているといえそうです。

一方、厚生労働省の「平成25年 就労条件総合調査」によれば、1人あたりの平均退職金額は勤続35年以上の大卒者で2,156万円と、平成20年(2,491万円)から1割以上減少しています。また、同「国民生活基礎調査」によれば、高齢者世帯の1世帯あたりの公的年金給付額は平成28年では201.6万円と、平成20年(209.8万円)に比べ4%ほど減少しており、今後の更なる引下げが見込まれています。

加えて、医療技術の進歩もあり、平均寿命が伸びており、「老後生活への不安」が高まっていると考えられます。早い段階からの老後生活費の準備に向けた自助努力の必要性がますます高まっているといえるでしょう。

【60歳以上の方への質問】

質問6 いま最も楽しいことは？（回答者数：1,620名）

○60歳以上の方のいま最も楽しいことは1位「旅行」、2位「友人との時間」、3位「家族との時間」となった
○就労者の方に限ってみると、「仕事」と回答した割合は11.3%となり、3位にランクインした

<いま最も楽しいこと>

(全体)

| 順位 | 最も楽しいこと | 全体 | 男性 | 女性 |
|-----|--------------------|-------|-------|-------|
| 1位 | 旅行 | 24.4% | 25.2% | 23.4% |
| 2位 | 友人との時間 | 15.8% | 15.5% | 16.1% |
| 3位 | 家族との時間 | 10.9% | 11.1% | 10.7% |
| 4位 | スポーツ | 8.9% | 12.1% | 5.2% |
| 5位 | 読書 | 7.7% | 8.1% | 7.3% |
| 6位 | 食事 | 7.5% | 7.2% | 7.9% |
| 7位 | 仕事 | 5.7% | 6.3% | 5.0% |
| 8位 | 芸術（鑑賞・創作） | 4.6% | 3.0% | 6.3% |
| 9位 | 音楽 | 3.3% | 3.0% | 3.7% |
| 10位 | テレビ・映画・ラジオ・インターネット | 3.1% | 3.3% | 2.9% |

(就労者)

| 順位 | 最も楽しいこと | 占率 |
|----|---------|-------|
| 1位 | 旅行 | 24.2% |
| 2位 | 友人との時間 | 16.0% |
| 3位 | 仕事 | 11.3% |
| 4位 | 家族との時間 | 10.1% |
| 5位 | 食事 | 8.8% |

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 シニアマーケティングリサーチャーのコメント>

前述の通り、退職金や公的年金の給付額は減少傾向が続いていることから、60歳以上の就労者の多くは先行きに対する不安から「生活のため」に仕事をしていると思われがちですが、今回の結果からは逆に楽しみや生きがいを求めて仕事を続けている方が少なくないことがわかります。

総務省統計局「労働力調査」によれば、人口に占める就業者の割合は、60代前半では男女とも6割を超えており、60代後半でも男性は5割を超えています。生きがいを感じながら働き、社会の中で活躍する高齢者が増えていくことは、社会全体の活力にもつながるものと期待されます。

【60歳未満の方への質問】

質問7-1 老後に住んでみたい都道府県はどこですか？（回答者数：5,553名）

質問7-2 その都道府県を選んだ一番の理由は？（回答者数：2,372名）

- 老後住んでみたい都道府県の1位は「沖縄県」、次いで「東京都」となった
- 老後に住んでみたい都道府県の理由としては、「自然が豊か・気候が良い」等の自然に関する項目が1・2位となる一方で、4・5位には「交通網の発達・娯楽が多い」等の利便性に関する項目がランクインした
- 老後、現在住んでいる都道府県と異なる都道府県に住みたい方の割合は46.9%、男女別・年代別にみると、「男性・若い世代の方」ほど異なる都道府県に住みたいと回答する方の割合が高くなった

<老後に住んでみたい都道府県>

| 順位 | 住んでみたい都道府県 | (昨年順位) |
|-----|------------|--------|
| 1位 | 沖縄県 | (1位) |
| 2位 | 東京都 | (2位) |
| 3位 | 北海道 | (3位) |
| 4位 | 神奈川県 | (5位) |
| 5位 | 大阪府 | (4位) |
| 6位 | 兵庫県 | (6位) |
| 7位 | 愛知県 | (7位) |
| 8位 | 福岡県 | (10位) |
| 9位 | 静岡県 | (9位) |
| 10位 | 長野県 | (12位) |

- 沖縄県を選んだ方の理由は「気候が良い」(44.3%)と「自然が豊か」(43.6%)が約9割を占めた
- 東京都を選んだ方の理由の1位は「交通網の発達」(39.2%)、次いで「医療・介護施設が多い」(21.8%)となった

<老後に住んでみたい都道府県の理由>

| 順位 | 理由 | 占率 |
|----|---------|-------|
| 1位 | 自然が豊か | 36.6% |
| 2位 | 気候が良い | 20.9% |
| 3位 | 食べ物の豊富さ | 7.8% |
| 4位 | 交通網の発達 | 7.5% |
| 5位 | 娯楽が多い | 6.3% |

<老後、現在住んでいる都道府県と異なる都道府県に住みたい方：男女別・年代別>

| | 男性 | 女性 | 全体 | ~20代 | 30代 | 40代 | 50代 |
|--------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 異なる都道府県 | 49.8% | 43.7% | 46.9% | 51.0% | 49.1% | 46.7% |
| 同じ都道府県 | 50.2% | 56.3% | 53.1% | 49.0% | 50.9% | 53.3% | 55.2% |

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 シニアマーケティングリサーチャーのコメント>

現在とは異なる都道府県に住みたいとする割合は若い世代ほど多いという結果となりました。これは、「マイルドヤンキー」などの言説において指摘される若年層の地元意識の強さから、ふるさとへのUターンを希望する方のほか、地域創生の一環から各地で地方への移住促進に向けた取組みが進められていることも影響しているのではないのでしょうか。

以上